



富士市立小中学校

新しい学校づくり通信

Vol.3

富士市シティプロモーション大使
さもにゃん

令和8年8月21日発行 富士市教育委員会 学校適正配置推進室



新しい学校づくりに向けて

～市立小中学校適正規模・適正配置基本方針を改定しました～

教育委員会では、**こどもたちの豊かな学びを維持・継続するため**、

令和2年6月に「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定し、
令和5年4月に「大淵第二小学校」を「大淵第一小学校」に統合、
令和6年4月に「吉原東中学校」を「吉原第三中学校」に統合しました。

また、昨年度から、学識経験者や地域、保護者、小中学校の代表者などの意見を聞きながら協議を重ね、
本年7月に基本方針を改定しました。

今後は、改定後の基本方針に基づき、令和9年度末を目途に「(仮称)富士市立小中学校再編計画」を策定し、『新しい学校づくり』を進めるとともに、児童生徒にとってより良い教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ります。

本号では、①基本方針とは？、②児童生徒数と学級数の推移、③基本方針改定のポイント、④基本方針説明会についてお伝えします。

①「基本方針」とは？？



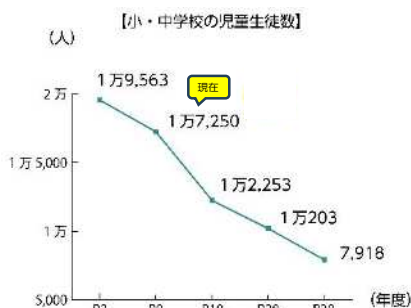
「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は、こどもたちにとってより良い学びの環境を整えるため、**望ましい学校の規模や配置の考え方を示すもの**です。

少子化による児童生徒数の減少などを踏まえ、小中一貫教育の充実や学校の適正化について、地域や保護者の皆さまと話し合いながら進める方向性を定めています。

なお、基本方針は、「今後の取組を進める上での方向性や考え方を示すもの」であって、**具体的な施策や事業そのものではありません**。

② 児童生徒数と学級数の推移

令和2年度の富士市立小中学校の児童生徒数は19,563人でしたが、令和8年度には17,250人となり、さらに30年後の令和38年度には7,918人まで減少すると推計されています。



学級数も児童生徒数に比例して減少しています。令和2年度は650学級でしたが、令和8年度には584学級となり、今後も減少は続く見込みです。



③ 基本方針改定のポイント

(1) 適正化の検討を学校単位から中学校区単位とし、**当面の間は、現行の中学校区を維持**

令和6年度に市内全ての中学校区で始まった小中一貫教育とコミュニティ・スクールの仕組みを生かし、「地域とともにある学校づくり」の視点で小中学校の再編を検討します。

(2) 望ましい学校規模及び配置条件に**義務教育学校を追加**

学校規模／小学校：12学級以上24学級以下（各学年2～4学級）
中学校：9学級以上18学級以下（各学年3～6学級）
義務教育学校：18学級以上36学級以下（各学年2～4学級）
配置条件／小学校：通学距離おおむね4キロメートル以内
中学校・義務教育学校：通学距離おおむね6キロメートル以内
通学時間：おおむね1時間以内

(3) 再編する際は、**施設一体型の小中一貫校又は義務教育学校の設置を基本**と明記

今後の学校施設の状況、児童生徒数の推移、地域の実情などを踏まえながら、学校の再編を行う場合には、現行の中学校区を維持しながら、施設一体型の小中一貫校又は義務教育学校の設置を基本として、より良い教育環境の整備を目指します。

(4) 1学級当たりの**最少人数基準を18人と明記**

児童生徒がさまざまな考え方や性格の同年代の仲間と関わり、円滑にコミュニケーションできるよう、本市では、1学級当たりの最少人数を18人とします。

④ 基本方針説明会を開催します

本市の教育環境の現状と改定した基本方針について、中学校区ごとに中学校の体育館で説明会を予定しています。ぜひご参加ください。

日時・場所／

10月1日（木）吉原第二中	10月19日（月）吉原第一中	11月10日（火）岳陽中
10月6日（火）吉原第三中	10月22日（木）田子浦中	11月12日（木）吉原北中
10月8日（木）元吉原中	10月27日（火）岩松中	11月17日（火）富士川第一中
10月13日（火）須津中	10月29日（木）富士南中	11月19日（木）富士川第二中
10月15日（木）大淵中	11月5日（木）鷹岡中	11月24日（火）富士中

※すべての開始時間は、18時30分。

※上履きをお持ちください。駐車場に限りがあるので、車での来校はお控えください。



👉 詳しくはこちら

編集後記

こどもの心を育てる「魔法の言葉」を調べてみました。
こどもに掛ける言葉は、すぐに結果を出すわけではありませんが、時間をかけて心の中で育ち、やがてその子の考え方や習慣、行動そのものを変えるきっかけになります。
日々忙しく忘れがちなことですが、言葉の掛け方や内容を再度意識していけたらよいですね。（Sai）

ほめてあげれば、子どもは明るい子に育つ
認めてあげれば、子どもは自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる

（参考文献：ドロシー・ロー・ノルトの「子どもが育つ魔法の言葉」）

